

第 4 5 回

北九州森鷗外記念会

定 期 総 会

日 時 令和 8 年 6 月 1 9 日 (金)

午後 6 時 1 0 分

場 所 小倉北区大門 1 - 1 - 1 7

小倉リーセントホテル

・開 会

- ・会長あいさつ
- ・規約第 1 0 条により、会長に議長をお願いする。

・議 事

- 第一号議案. 令和 7 年度事業報告・収支決算報告承認の件および監査報告の件
- 第二号議案. 令和 8 年度事業計画案および収支予算案承認の件

・閉 会

総会閉会后引続き 午後 7 時 0 0 分より懇親会 (会費 7, 0 0 0 円) を開催

総会に先立ち

- ① 午後 3 時 3 0 分より 紫川河畔の文学碑前で「碑前の集い」を開催
「小倉日記」の一節朗読・献菓・「紫川の歌」斉唱・献花を実施
- ② 午後 4 時 3 0 分より 記念講演会を開催
演題 「 森鷗外の日田訪問 - 『小倉日記』より - 」
講師 日田市咸宜園教育研究センター主査
原 田 弘 徳 氏

令和7年度 事業報告

令和7年度は、森鷗外が生まれて163年、鷗外小倉着任126周年（令和7年6月）にあたる。例年通り、森鷗外旧居公開、偲ぶ会・講演会・語る会、図書販売などを行うほか、森鷗外を顕彰し、当会活動のPRにより会員増を図るとともに、文豪森鷗外の各般にわたる足跡の理解・啓発に努めた。

1. 会報発行
 - ・第100号 令和7年 4月
 - ・第101号 令和7年10月
2. 森鷗外を偲ぶ会
 - ・紫川河畔文学碑前の集い (第63回) 令和7年6月19日
 - ・京町住居跡碑前春の集い (第49回) 令和8年3月26日
3. 硯開きの会 令和8年1月9日(金) 於：小倉リーセントホテル (色紙揮毫・懇親会)
4. 講演会
 - ◎ 令和7年6月19日(木) 於：小倉リーセントホテル (講演会後総会行事)
 - 演題 「 鷗外の遺品 ～流転の運命と森於菟～」
 - 講師 多胡 吉郎 氏 (作家)
 - ◎ 令和8年3月26日(木) 於：森鷗外旧居
 - 演題 「 津和野町 森鷗外記念館の「これまで」、そして「これから」
 - 講師 大山 優子 氏 (津和野町森鷗外記念館文化施設係長)

5. 報告

- ◎ 森鷗外を偲ぶ会(6月19日)・硯開きの会(1月)、偲ぶ春の集い・講演会(3月26日)、語る会を開催。
- ◎ 「記念会だより第100号記念号」発行について
「記念会だより」が令和7年春号で100号となるのを記念して、充実した内容の「記念会だより第100号記念号」を発行した。
- ◎ 「記念会だより」の合本(第61号～第100号)の発行の諸準備
「記念会だより第100号記念号」の発行を機に第61号～第100号までの合本の発行に向けて、諸準備を行った。

* 2023年12月からホームページを開設・公開

公開URL：<https://kitakyu-ougaikinenkai.com/>

6. 森鷗外を語る会 (講師は 当会理事・監事 他)

- | | | | | |
|---|--------------|--------------------------------------|----|-------------------------|
| ① | 令和7年4月 5日(土) | 夏目漱石と森鷗外の「牛肉食」文学における相違 | 講師 | 野松 循子 |
| ② | 5月10日(土) | 鷗外とトルストイ | 講師 | 石井 郁男 |
| ③ | 6月 7日(土) | こどもたちから見た森鷗外夫妻—長男・森於菟を中心に— | 講師 | 轟 良子 |
| ④ | 7月 5日(土) | 家庭人としての森鷗外 | 講師 | 牧志 哲己 |
| ⑤ | 9月 6日(土) | 鷗外ゆかりの知られざる作家—三浦義之と氏原大作— | 講師 | 養父 克彦 |
| ⑥ | 10月 4日(土) | 森鷗外の日清・日露戦争について | 講師 | 寺岡 賢治 |
| ⑦ | 11月 1日(土) | 色紙『おほけなきことともしらで…
(北九州市立文学館蔵)をめぐって | 講師 | 中西由紀子
(北九州市立文学館 学芸員) |
| ⑧ | 12月 6日(土) | 森鷗外と夷堅志 | 講師 | 草刈 麗奈 |
| ⑨ | 令和8年2月 7日(土) | 鷗外『小倉日記』の世界 | 講師 | 柏木 修 |
| ⑩ | 3月 7日(土) | 森志げの作品をめぐる考察 | 講師 | 勝田 純子 |

第一号議案

8. 鷗外旧居来館者数

(人)

年度 月別	令和6年度	令和7年度
4月	764	798
5月	907	875
6月	843	786
7月	772	824
8月	737	796
9月	780	714
10月	1,062	937
11月	931	1,055
12月	725	796
1月	706	691
2月	670	789
3月	825	891
合計	9,722	9,952

令和7年度収支決算報告

◎収入の部

予 算 額		決 算 額		
項 目	金 額	金 額	内 訳	
前年度繰越金	500,941	500,941		
本 年 度 収 入	会 費 収 入	430,000	400,000	令和7年度 @ 3,000× 94 (人) = 282,000 過年度 @ 3,000× 6 (人) = 18,000 賛助会費 @ 10,000× 10 (口) = 100,000
	懇親会会費収入	560,000	364,000	6月19日 210,000 1月硯開き 154,000
	業務受託収入	1,704,120	1,704,120	旧居管理 1,666,920 電話料(基本料) 31,200 消耗品代 6,000
	寄付金収入	100,000	20,000	
	振 替	200,000	200,000	
	雑 収 入	22,000	68,713	北九州市の文化財を守る会業務受託料 60,000 語る会資料代 (@300×23) 6,900 コピー使用料 1,170 銀行利息 643
	計	3,076,120	2,756,833	
	合 計	3,577,061	3,257,774	

◎支出の部

予 算 額		決 算 額	
項 目	金 額	金 額	内 訳
行 事 費	620,000	630,487	語る会 (講師謝礼金) 18,000 森鷗外記念行事 (6月・3月) 444,315 硯開きの会 168,172
通 信 費	260,000	324,718	電話料(wi-fi 通信)等 221,611 郵送料 (会報・総会・理事会案内 等) 103,107
事 務 印 刷 費	100,000	93,473	コピー・事務用品ほか
会報編集印刷費	140,000	144,100	No.100・101 各400部・A4判
森鷗外旧居管理費	1,704,120	1,704,120	旧居管理 1,666,920 電話料(基本料) 31,200 消耗品代 6,000
加 入 団 体 費	7,000	7,000	東京森鷗外記念会会費
雑 費	20,000	44,823	北九州市の文化財を守る会業務委託料 30,000 お茶・掃除用洗剤・トイレトペーパー 等 14,823
予 備 費	665,941	0	
繰 越 金	0	309,053	
合 計	3,577,061	3,257,774	

監 査 報 告

監査の結果、適正かつ正確に処理されているものと認めます。

令和 8年 4月 24日

監 事 丸田 圭一



監 事 藤原 智子



令和7年度収支決算報告

図 書 特 別 会 計

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
繰越金	941,257	一般会計貸付金	200,000
図書売上他	58,800	繰越金	801,557
利 息	1,500		
合 計	1,001,557	合 計	1,001,557

第二号議案

令和8年度収支予算 (案)

図 書 特 別 会 計

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
繰越金	801,557		
図書売上	40,000		
利 息	500		
		予 備 費	842,057
合 計	842,057	合 計	842,057

(注) 理事会の承認により、予備費の流用および項目間の流用ができるものとする。

令和8年度 事業計画

令和8年度は、森鷗外が生まれて164年、鷗外小倉着任127周年（令和8年6月）にあたる。

本年度も、例年通り、森鷗外旧居公開、偲ぶ会・講演会・語る会、図書販売などを行う。

また、当会活動のPRを通じ会員・賛助会員増加を図るほか、文豪森鷗外の各般にわたる足跡の理解、啓発に努める。

1. 会報発行
 - ・第102号 令和8年 4月
 - ・第103号 令和8年10月

2. 森鷗外を偲ぶ会
 - ・紫川河畔文学碑前の集い (第64回) 令和8年6月19日(金)
 - ・京町住居跡碑前春の集い (第50回) 令和9年3月26日(金)

3. 硯開きの会
 - ・硯開きの会(色紙揮毫・懇親会) 令和9年1月に開催予定

4. 講演会
 - ◎ 令和8年6月19日(金) 於：小倉リーセントホテル (講演会後総会行事)
 - 演題 「森鷗外の日田訪問 - 『小倉日記』より -」
 - 講師 原田 弘徳 氏 (日田市咸宜園教育研究センター主査)
 - ◎ 令和9年3月26日(金) 於：森鷗外旧居
 - 演題 「森鷗外の人生」
 - 講師 石井 郁男 氏 (北九州森鷗外記念会 理事)

5. 森鷗外を語る会 (講師は 当会理事・監事 他)
 - ① 令和8年 4月 4日(土) 鷗外さんの『小倉日記』～着任から100日～ 講師 山下みつお
 - ② 5月 9日(土) 弟・潤三郎から見た森鷗外 講師 木下 圭子
 - ③ 6月 6日(土) 日田へ 森鷗外『小倉日記』の旅 講師 轟 良子
 - ④ 7月 4日(土) 鷗外『小倉日記』に見る広寿山福聚寺の今 講師 牧志 哲己
 - ⑤ 9月 5日(土) 宗像和重編『鷗外追憶』(岩波文庫)を読む 講師 養父 克彦
 - ⑥ 10月 3日(土) 「 - 未定 - 」 講師 前菌 廣幸
 - ⑦ 11月 7日(土) 「 - 未定 - 」 講師 泉 徳和
 - ⑧ 12月 5日(土) 清張と鷗外――「或る『小倉日記』伝」を中心に 講師 柳原 暁子
(松本清張記念館 学芸員)
 - ⑨ 令和9年 2月 6日(土) 鷗外と杉山貞 講師 柏木 修
 - ⑩ 3月 6日(土) 「嗚呼是れ我が旧妻なり」～赤松登志子の人生～ 講師 勝田 純子

6. 新規事業
 - (1) 「記念会だより」の合本の発行
「記念会だより」の合本(第61号から第100号)を発行する。
 - (2) 「森鷗外を語る会」を丸善リバーウォーク店の協力・支援を得て、開催
夏期(7月、9月)、冬期(2月、3月)に丸善リバーウォーク店セミナールームで「語る会」を開催する。
 - (3) 日田へのバスツアーに協力・参加
北九州シニア応援団が開催する日田へのバスツアーに協力し、会員の参加を募る。

7. 会員数
 - ・令和7年度 加入 3人 退会 10人
 - ・令和8年3月末 102人
 - 賛助会員 10口
 - *会員増加にご協力願います *希望者・紹介者を事務局にご一報下さい。
 - *賛助会員の勧誘・紹介にもご支援願います。

令和8年度収支予算(案)

◎収入の部

項目	令和7年度	令和8年度予算額	
	決算金額	予算金額	内 訳
前年度繰越金	500,941	309,053	
会費収入	400,000	400,000	令和8年度 @ 3,000×100(人) = 300,000 賛助会費 @ 10,000×10(口) = 100,000
懇親会会費収入	364,000	400,000	6月・1月記念行事 各@7000×40人(年2回)
業務受託収入	1,704,120	1,704,120	旧居管理 1,666,920 電話料(基本料) 31,200 消耗品代 6,000
寄付金収入	20,000	150,000	
振替	200,000	0	特別会計からの振替 200,000
雑収入	68,713	170,000	北九州の文化財を守る会から受託業務 60,000 「語る会」資料代 9,000 コピー機使用料・銀行利子 他 1,000 「記念会だより」合本販売収入等 100,000
計	2,756,833	2,824,120	
合計	3,257,774	3,133,173	

◎支出の部

項目	令和7年度	令和8年度予算額	
	決算金額	予算金額	内 訳
行事費	630,487	620,000	第45回総会関係 他 600,000 語る会(講師謝礼金) 20,000
通信費	324,718	300,000	電話・郵送料 等
事務印刷費	93,473	100,000	コピー関係 80,000 事務用品・封筒印刷 20,000
会報編集印刷費	144,100	140,000	No.102/No.103 各400部・A4判
記念会だより合本制作費	0	100,000	印刷製本費(50部・A4版)、図書館他関係機関への郵送料
森鷗外旧居管理費	1,704,120	1,704,120	旧居管理 1,666,920 電話料(基本料) 31,200 消耗品代 6,000
加入団体費	7,000	7,000	東京森鷗外記念会会費
雑費	44,823	40,000	守る会からの委託業務 30,000 掃除用洗剤・備品 他 10,000
予備費	0	122,053	
繰越金	309,053	0	
合計	3,554,607	3,133,173	

(注) 理事会の承認により、予備費の流用および項目間の流用ができるものとします。